

# 彼方「かなた」

校長通信  
H25.6.25  
Vol.8

## 【大成功！林間学校】

二年生の林間学校が六月五日（水）～七日（金）にかけて、自然豊かな長野県菅平で行われました。出発前に二年生のしおりの中に「生かされている自分」と題して私の林間学校への願いを次のように書かせてもらいました。



## 『けじめ・協力・絆』 ～最高の思い出～

みなさんが掲げた林間学校のスローガンです。「けじめ」は、集団生活をする上でとても大切な行動の区別です。例えば、元気に活動するときと静かに話を聴くときの区別をつけることは、一人で生活しているときは全く関係ありませんが、集団で生活する場合は必ず意識しなければなりません。それには、



周囲を気遣ったり、リーダーに「協力」したりする心が必要です。それがなければ「けじめ」はつきません。そして仲間を気遣い、協力する姿が、学年や学級の「絆」を太くしていくのです。「絆」が強くなった集団が創り出す行事

は必ず成功し、心にいつまでも残り、ずっと語られる行事になります。最高の思い出は、「絆」が深まった最高の笑顔と共に創られるのです。

学校を離れて、自然の中で仲間と過ごすことで皆さんに学んで欲しいことがもうひとつあります！それは、自然の中で「生かされている自分」を感じる事です。普段はあまり意識しないけど、あつて当たり前の空気や水、自然を肌で感じ取り、その中で「生かされている自分」を意識して欲しいのです。

それには、当たり前なのに「ありがとう」と心から感謝することが出来る素直な心がなければ感じられません。生かされている自分や周りとながっている自分を感じられる素直な「ココロ」を学ぶ

林間学校にして欲しいと思います！



しおりに込めたこの願いを二年生はみごとに叶えてくれました。ホテルの人やバスガイドさん、農家の皆さんが口々に次のように評価してくださいました。「いままで沢山の中学生を接してきましたが、湖北中の生徒さんは、本当に一生懸命です。」「優しく思いやりがありますねー」「こんなに笑顔で挨拶をしてくれる生徒さんは初めてです」等々。そして最後に「是非来年もみなさんの後輩に来るように言ってください。」とホテルの支配人さんにも声をかけられた人がいたそうです。助け合って頑張る姿が、周囲の人に感動を与えたのです。沢山の笑顔で帰ってきた二年生の背中には「大成功」の文字が！

